

新型コロナウイルス感染症対策をふまえた熱中症対策について

大津市教育委員会

令和4年5月

「新しい生活様式」の中での熱中症予防

(1) 暑さを避けることについて

- ・換気をしながらエアコンを利用するので、常に室内が涼しくなるようにエアコンの温度設定をこまめに調整する。
- ・エアコンをつけた教室の換気については、教室の窓や扉等を対角（例えば、教室後ろの窓と廊下側の前の扉など）に10～20cmほど開けて行う。
- ・直接、日差しを浴びるのを防ぐため、帽子や日傘などを活用させる。

(2) マスクの着用について

熱中症も命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先させる。

- ・学校生活において、飛沫を飛ばさないよう、基本的に常時マスクを着用させることが望ましいが、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外させる。
- ・ただし、マスクを外させる場合には、児童生徒等の間に十分な距離を保つ、近距離での会話を控えるようにするなどの配慮をすることが望ましい。
- ・マスクの取り外しについては、活動内容や児童生徒の様子なども踏まえ、臨機応変に対応することが重要である。
- ・登下校時には、人と十分な距離を確保し、マスクを外すようにする。なお、公共交通機関を利用する場合は、マスクを着用する。
- ・体育の授業においては、マスクの着用は必要ない。

(3) 水分補給について

- ・マスクの着用により加湿されるため、のどの渇きを感じにくくなる。そのため、児童生徒には、のどが渇く前の水分補給をこまめにさせる。
- ・活動前や活動中、終了後に適宜水分補給を行わせる。
- ・校内放送等を活用して、休み時間にも適宜、水分補給や休憩をさせる。

(4) 日頃からの健康管理について

- ・毎日の体温測定や健康チェックは、新型コロナウイルス感染症だけでなく、熱中症の予防にも有効であり、体調が悪いときには無理をさせない。
- ・熱中症予防に関しては、十分な睡眠をとることや朝食の摂取も含めて、日頃から児童生徒や保護者に注意喚起を行う。

(5) 暑さに備えた体作りについて

- ・特に暑くなり始める時期や身体が暑さに慣れていない時期は、児童生徒の健康状態について常に把握に努める。
- ・適度な運動をさせ、徐々に体を暑さに慣らさせていく。ただし、児童生徒への見守りを行い、こまめに水分補給をさせ、適宜、休憩をとらせる。

○暑さ指数（WBGT）が31℃を超えたとき（危険）

（学校生活）

- ・授業開始前（エアコンの効いた室内の活動であっても）の健康観察を徹底する。
- ・休み時間は、エアコンの効いた室内で過ごす。（外遊びは禁止）
- ・下校時に、集団下校を行う。可能な限りの暑さ対策をし、速やかに下校するよう指導する。（教職員等による見守りを必ず行うこと）
- ・室外やエアコンのない室内での活動は全面禁止
- ・体育の授業は禁止
- ・始業式や終業式、集会を体育館で行うのは禁止。（例：校内放送等を利用する。）

（部活動）

- ・活動禁止（エアコンの効いた室内での活動は可）
- ・開始前、終了時の健康観察（必ず直接指導を行うこと）
- ・エアコンの効いた室内で活動を行う際は、必ず教師が直接指導を行う。

○暑さ指数（WBGT）が28℃を超えたとき（嚴重警戒）

（学校生活）

- ・授業開始前（エアコンの効いた室内の活動であっても）の健康観察
- ・体育の授業は、こまめに水分補給をさせながら行う。
- ・通常授業も1時間ごとに給水確認を行う。
- ・下校時は必ず集団下校を行う。

（部活動）

- ・部活動開始前、終了時の健康観察（必ず直接指導を行うこと）
- ・各種目の技術練習のみ行う。（トレーニングは不可）
- ・屋外、屋内の活動に限らず、10～20分に1回は休憩の時間を設ける。
- ・顧問の確認のもと、こまめな水分補給を必ず行わせる。
- ・活動人数と生徒の状態は常に把握しておく。

※「暑さ指数（WBGT）」については、環境省が発表する予測値や測定値を参考にしながら、暑さ指数計による実測値で判断する。

2. 暑さ指数 (WBGT) にもとづく熱中症予防

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)		学校生活・教育活動における注意事項					
			健康観察	休み時間	体育科の授業	教室外の活動	下校	部活動
35℃ 以上	31℃ 以上	危険	授業開始前 の健康観察 を徹底する	休み時間の外 遊びは禁止。 エアコンの効 いた室内で過 ごす。	禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンのない室 内での活動は禁止。 ・始業式、終業式、 集会活動を体育館で 行うは禁止。(例え ば、校内放送等を利用して行う) 	集団下校を行 う。可能な限り の暑さ対策を し、速やかに下 校するように指 導する。(教職員 等による見守り を必ずつける)	<ul style="list-style-type: none"> ・禁止。ただし、エアコンの 効いた室内での活動は可。 ・開始前、終了時は健康観察 を行う。 ・必ず教師が直接指導を行 う。
31～ 35℃	28～ 31℃	嚴重警戒		帽子の着用さ せ、こまめに 水分補給をさせ、10～20分 おきに休憩を とらせる。	こまめに水分補 給をさせ、10～ 20分おきに休 憩をとりながら 行う。	こまめに水分補給を させ、10～20分おき に休憩をとりながら 行う。	集団下校を行 う。	<ul style="list-style-type: none"> ・開始前、終了時は健康観察 を行う。 ・各種目の技術練習のみ行う。 (トレーニング不可) ・10～20分おきに休憩をと る。 ・顧問の確認のもと、こまめ に水分補給をさせる。 ・活動人数と生徒の状態を常 に把握する。
28～ 31℃	25～ 28℃	警戒		適宜、水分補 給をさせ、積 極的に休憩を とらせる。	適宜、水分補給 をさせ、30分お きくらいに休憩 をとらせる。	適宜、水分補給をさせ、30分おきくらい に休憩をとらせる。	通常	適宜、水分補給をさせ、30 分おきくらいに休憩をとら せる。